集中豪雨に備えて

日本は、梅雨や低気圧、台風などによって適度な雨に恵まれ四季の変化に富んだ気候の国です。

しかし、しばしば、一か月かかって降る量の雨が数日で降ってしまうことがあります。このような集中豪雨の場合、河川の氾濫による浸水やがけ崩れなどの災害が発生し、人々の生活や生命をも脅かす可能性があります。

集中豪雨に備えて対策を講じておけば、被害を軽減させることができます。以下にその例を挙げますので、参考にしてください。

水路の清掃をしましょう

- 水路には空き缶、ビニール袋、雑草などいろいろなゴミが溜まっています。水路が詰まれば少しの雨でも浸水します。町内で協力し合って水路の清掃を！

家庭の防災会議を開きましょう

- 避難の方法、連絡の方法を確認しておきましょう。
- 身近な危険箇所、通勤、通学路の危険箇所などについても話し合っておきましょう。
- 家族それぞれの役割を決めておきましょう。

避難場所・経路を確認しておきましょう

- あなたの地域の避難場所を確認しておきましょう。
- 実際に歩いて、避難経路に危険箇所がないか確認しましょう。
- 危険箇所を避け、少し遠回りでも安全な避難経路を見つけましょう。

非常持ち出し品を準備しておきましょう

- 災害が起こってからでは間に合いません。普段から、非常持出品を用意しておきましょう。
- 9月1日の防災の日・1月17日の阪神淡路大震災の日などに点検と入れ替えを行うと効果的です。
- 非常持出袋に入れていないもの（貯金通帳・証書・携帯電話・印鑑・健康保険証など）は必ず持ち出せるように非常持出袋にメモをつけておくと良いでしょう。

女性消防団の〈第3回〉「ちょっといい話」

先月配布された「松前町防災マップ」をご覧になりましたか？ご存知のとおり松前町は、海や川に囲まれ、山がありません。大規模な地震が発生することによって起こる、津波による二次的被害は避けられません。また、集中豪雨によって河川が氾濫した場合、高台がないので、簡単に広範囲が浸水してしまいます。地図上の自宅の場所に印をつけ、近くの避難場所、避難経路をもう一度確認しておいてください。ご近所で声を掛け合い、助け合い、『自分たちの町は、自分たちで守る』と言う自助・共助の精神で、災害発生時の被害を最小限にとどめる努力をしましょう。

私たち女性消防団も「松前町防災マップ」を見て、改めて災害に対する危機感を感じました。災害用の備蓄品をそろえていくことや、身近な危険箇所を点検し把握することなどを実施しようと思っています。

対策を講じるのは、災害が起こってからでは遅すぎます。そして、災害はいつ発生するか分かりません。それは「今」ではないでしょうか。皆さんもこれを機会に、災害に対してもう一度考えてみてはいかがでしょうか。

水防訓練を実施

梅雨の時期を迎え、万一の水害のときにスムーズに水防活動を行えるように、また水防技術の向上を目的に重信川堤防河川敷で、松前町消防団員等約200名が防災エキスパート（国土交通省）の皆さんの指導のもと、積み土のう工法などの水防訓練を実施しました。